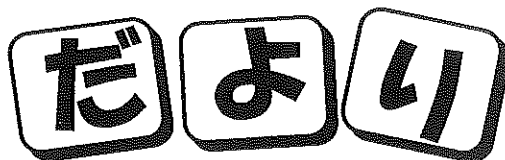


少年センター



守山野洲少年センター
『あすくる守山野洲』

相談は ☎ 583 - 7474 まで

<http://www.usennet.ne.jp/~syonen-c/>

遊ぶことは、学ぶこと

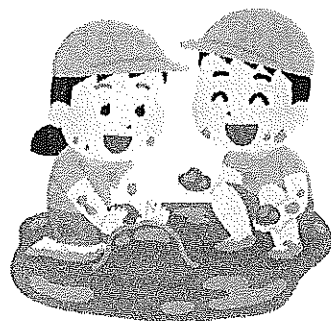
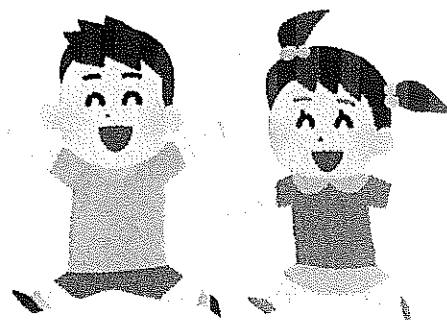
子どもたちは、いつもどのような遊びをしていますか？

子どもたちの自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習です。しかし、近年の遊ぶ場所の少なさや忙しさの中で、自由な遊びができなくなりつつあると言われていす。実際の様子としてはどうでしょうか。

仲間と一緒に自由に遊べないことは、

- ① 自らの行動や感情をコントロールできない
- ② 不安・落ち込み・無力感をもつ
- ③ 自己中心主義の増大や共感能力の低下を起こす

といった問題が起こりやすいという調査があります。



子どもたちは、仲間と一緒に遊ぶ中で、自主性や自発性を発揮し、自分の身体について理解を深めます。さらに集団の中で遊ぶことで人間関係やルールも自然と身に着けていきます。さらに、遊びの中で好奇心や創造力、洞察力を高めるということも言われています。子どもが自由に遊ぶことは、それ自体が豊かな学びであり、また学びを吸収する基礎となるのです。

大人たちには、その遊びをすべて用意するのではなく、子どもたちの自発的で自由な遊びを見守り、そしてその楽しさを一緒に共有することが大切になるのだと思います。

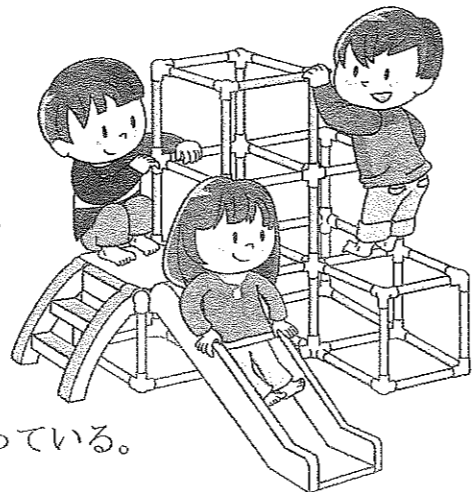
暑い夏が過ぎ、少しずつ過ごしやすい季節になります。ゆとりある生活の中で、時間とルールを守りながら、子どもたちが思いっきり遊ぶ場をつくりましょう。

園児・幼児には 今 何が大切？

不思議な空間

ある日の昼下がりに ① ～ある公園での出来事～

3～4人の園児らしき子ども達が滑り台やブランコ・鉄棒で遊んでいた。公園の入り口付近では母親らしき方々がおしゃべりをしている。



◇ふと見ると、一人の男の子が滑り台をさかさまに登っている。

上からは女の子が今まさに滑り降りようとしている。

○“どうするのかな”と見てみると、一度は男の子が上まで滑り台を登りきり、女の子より先に滑った。そして、上にいた女の子が続いて滑り降りようとした時、また、男の子が滑り台を登って来ようとした。

その時、

○それまで話し込んでいたと思われた男の子の母親らしき女性が滑り台の近くに来て、男の子を抱き上げ地面に下ろした。そして、なにやら男の子に話しかけ、また井戸端会議ならぬ公園の入り口会議に加わっていた。

★一瞬の出来事である。「見事なしつけ」である。

○実はこの男の子、この公園で時には砂や小石を投げることもある。

その都度、この母親らしき女性は何事か言って止めている。それも一瞬で。

そして、いつも一緒に公園の入り口会議をしている女性たちも、文句を言う素振りもない。もちろん、一緒に遊んでいるほかの子ども達も同様であり、ケンカは起こっていない。

ある日の昼下がりに ② ～ほほえましい一瞬～

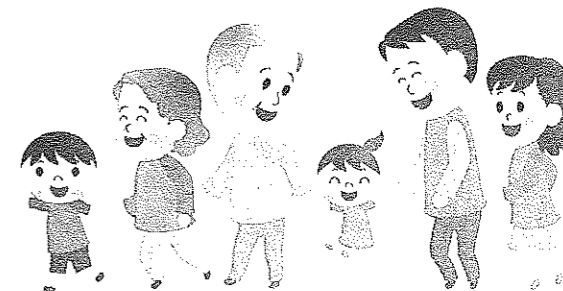
一人の女の子が公園の周りにやってきて、手をつないでいたお祖父さんらしき人を見上げて、何か話していた。

○一瞬である。すごく嬉しそうな表情で、その公園に入っていった。お祖父さんらしき人も、ゆっくりと公園に入り、ブランコをする女の子の背中を、ゆっくりと押していた。



こんな姿に育ってほしい！

1. 健康な心と体
2. 自立心
3. 協同性
4. 道徳性の芽生え
5. 規範意識の芽生え
6. いろいろな人とのかかわり
7. 思考力の芽生え
8. 自然とのかかわり
9. 生命尊重・公共心等
10. 数量・図形、文字等への関心・感覚
11. 言葉による伝え合い
12. 豊かな感性と表現 (文科省資料より)



こんなことを考えながら幼稚園や保育園では教育や保育が行われています。

では、これだけの項目から子どものどんな姿を想像されますか？

例えば、「自立心」であれば、自分のことは自分で出来るように。

でもできないことは、助けてもらって自分でやり遂げよう。

例えば「いろいろな人とのかかわり」では、親や祖父母などの家族を大切にしようとする気持ちをもつことや、自分が役に立つ喜びを感じたり、伝統的な行事に触れることで地域に一層の親しみを感じよう。

このように、望まれる幼い頃の育ちを見つめると、左のページにある2つの「ある公園での出来事の子供達の経験」は、幼稚園や保育園ではなく、保護者や家族に見守られ、そしてしっかりと養育されていることがよく分かります。

ちまたでは、約半分の子どもが100歳を越えるというような報道もありました。

では、いま生きている幼な子を、これからどう育てればいいのでしょうか？

その一つに「自立」という姿があるのではないのでしょうか。



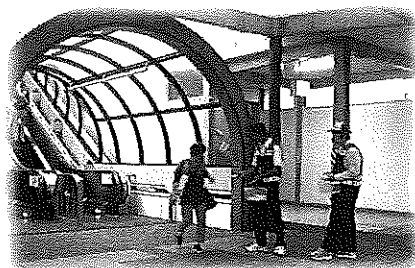
子ども達には、今も多様化しつづける社会にあって、自分らしさを見失わないように、また、社会を生き続ける力を身につけて欲しいと願います。

**今、お子さんは笑っていますか？ 毎日が楽しそうですか？
それが一番。そして、子育てを楽しめれば最高ですね。**

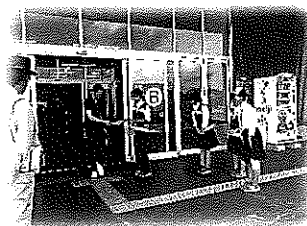
市内中学生・守山野洲少年補導(委)員会 合同啓発活動

滋賀県では7月を「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」と位置づけ、「地域の力で子どもをまもり、はぐくむ」を重点テーマに、地域が一体となった青少年の非行および被害の防止活動を推進することとしています。

この月間に連動して、守山・野洲両市の中学生と守山野洲少年補導(委)員が合同啓発活動を実施しました。中学生が思いを込めて書いたメッセージ入りのティッシュや強調月間のうちわを、量販店や駅前で配布しながら、青少年のインターネット上の非行・被害防止や万引き防止を呼びかけました。



青少年の非行・被害防止
啓発活動中です。
よろしくお願いします



「あすくる守山野洲」の支援活動



守山野洲少年センターには、立ち直り支援センター『あすくる』が併設されています。

非行などの問題を抱え、自分の居場所もなく悩んでいる少年が、自分自身を見つめ直し健やかに成長していくための支援事業を行なっています。『あすくる』という名前には、少年たちに明るい明日(あす)が来る(くる)ように、という願いが込められています。

悩みを抱える本人やご家族の方・・・まずはご相談ください。 **077-583-7474**

守山野洲少年センター 『あすくる守山野洲』

〒524-0021
守山市吉身三丁目11番43号 守山市商工会館3階
TEL : 077-583-7474 / 077-570-7557
FAX : 077-581-1419
<http://www.usennet.ne.jp/~syonen-c>

土日祝日及び年末年始を除く毎日
午前8時30分～午後5時15分
電話・来所・訪問相談 相談無料
カウンセリングは要予約 秘密厳守
(火・水・金)